

「石巻市震災復興基本計画 市民からの104の提案」

石巻復興支援ネットワーク

提 案

- 提案1. 景色・自然・食べ物など、石巻の誇りを再確認・共有して、広く伝えよう。
- 提案2. 日和山、北上川、太平洋など石巻市の自慢のものを誇ろう。
- 提案3. 石巻の誇りを再確認・共有するために、写真や絵画、作文などの分野で「誇れる石巻コンクール」を実施しよう。
- 提案4. 石巻人の気質の良いところを伸ばし、悪いところを直して、皆で復興に取り組もう。
- 提案5. 石巻の子どもは、「未来の大人」と確認し、その意見や役割を積極的に評価しよう。
- 提案6. 石巻の地元の人が頑張れるように、互いに声掛けし合い、応援し合おう。
- 提案7. 市民が市政を批判するのではなく、ともに提案できる社会をつくろう。
- 提案8. 市民が自分でできることを考え、行動に移し、市民主体のまちづくりを行おう。
- 提案9. ボランティアを生かし、行政とも情報共有しながら、事業がテンポよく進む、リズム感のある復興を実現しよう。
- 提案10. 石巻市民が、自分の住むまちを誇りに思え、地域の良さを大人になっても忘れないまちづくりを行おう。
- 提案11. 震災前の夢や希望が再び持てるまちづくりを行おう。
- 提案12. みんなが石巻を大好きになるまちづくりを進めよう。
- 提案13. 笑顔を忘れず、笑顔が見られる、明るい地域づくりを進めよう。
- 提案14. 石巻市に住みたいと思う人が増えるまちづくりを進めよう。
- 提案15. 石巻の自然・歴史・文化を大切にしたいまちづくりを行おう。
- 提案16. 資料館、名物おじさんなどから石巻市の歴史を学ぶ機会をつくろう。
- 提案17. 震災復興に関わる様々なアイデア・情報が集まり、共有できる情報センターを、小さくても、他施設と共有でもよいので、早くつくろう。
- 提案18. 漁協や仮設コミュニティーなどの困っているところと、NPO、ボランティアなど応援したい人をマッチングする場や仕組みをつくろう。
- 提案19. SNSなどを用いて、困っているところと応援したい人をマッチングする場をつくろう。
- 提案20. 石巻市の復興状況が共有できる、復興情報誌を定期的に発行しよう。
- 提案21. 復興の基本として、石巻市民憲章をもう一度読み直そう。
- 提案22. 「全てのボランティアを招待した川開き」を復興の節目とし、その実現に向けてまちづくりを進めよう。
- 提案23. 石巻市の決裁権を簡略化し、手続き・行動しやすい体制をつくろう。
- 提案24. 役所の縦割りの行政システムを見直そう。
- 提案25. 復興まちづくりに関わるヒト、モノ、カネ、制度を調整し、迅速に対応できるコーディネート

ネット課を創設しよう。

- 提案26. 全国から集まったボランティアが、行きたいところに行けるためのコーディネーターやサポート体制を整えよう。
- 提案27. 石巻市役所のOB職員を積極的に活用しよう。
- 提案28. 地域の人と行政、NPO、ボランティアなどが相互に関係をつくることのできるような条例を作ろう。
- 提案29. 地域リーダーを育成する仕組みをつくろう。
- 提案30. 自分たちで考えて、できることは行動に移せる石巻市をつくろう。
- 提案31. ボランティアがやってきたことを地域主体で実行できるように移していこう。
- 提案32. 町内会のネットワーク・協力体制を構築し、泥かきなど自分たちでやっていこう。
- 提案33. 溝掃除ではなく「溝祭り」、炊出ではなく「縁日的炊出」などのように、各復興活動を地域一体で取り組めるイベントとして実施しよう。
- 提案34. たくさんの方が交流できるまちづくりを行おう。
- 提案35. 全世代の方が交流できる場があるまちづくりを行おう。
- 提案36. 老若男女が交流できるイベント、機会を増やし、各世代、同年代のネットワークを構築しよう。
- 提案37. 高齢者と若者が仲良く、助け合い、暮らせる地域・まちづくりを考えていこう。
- 提案38. 農業、食事、娯楽、遊び、勉強など、テーマに沿った私設のコミュニティスペースを設け、コミュニケーションの場を創出しよう。
- 提案39. 仮設住宅で新しいコミュニティができるような支援を行おう。
- 提案40. 石巻市民がいつでもみんなで共有できる居場所を作ろう。
- 提案41. 地域の方が自然と集まり、会議を開き、色々な連携が生まれるような居場所、仕組みを作ろう。
- 提案42. 市民と行政が協働できる拠点を小学校区毎に整備しよう。
- 提案43. 子どもがたくさん生まれて、健やかに育てられる環境を作ろう。
- 提案44. 子育て広場、保育、子どもたちの居場所となる場所があるまちづくりを目指そう。
- 提案45. 子どもたちと一緒に復興へ向け活動していこう。
- 提案46. 学生が運営する、学生の学生による学生の為の交流の場を創出しよう。
- 提案47. 高齢者を生かしたまちづくりを行おう。
- 提案48. 高齢者の方々に目を向けられるまちづくりを行おう。
- 提案49. 漁業と観光で人を呼べるまちづくりを行おう。
- 提案50. サンファン館、石ノ森漫画館を早期に復活させよう。
- 提案51. 復興への過程を見ることそのものを対象とした観光事業を行おう。
- 提案52. 漁業を市民で応援し、それを中心にした働く場所づくりを行おう。
- 提案53. 工業港、漁港の岸壁を早期に復活させよう。
- 提案54. 理念の「産業・経済の再生」に生活を追加し、「生活・産業・経済の再生」に変更しよう。
- 提案55. 生鮮マーケットを早期に作ろう。
- 提案56. 簡易市場を早期に開設しよう。

- 提案57. 病院・文化センターを早期に復興しよう。
- 提案58. 頑張っていて立て直しを図っている商店主、漁業従事者や農業従事者で困っている方々への継続的な経済支援の仕組みをつくろう。
- 提案59. 船と漁網の支援を全国から募ろう。
- 提案60. 商店街への支援を行おう。
- 提案61. 若者が働き、住み、遊べるまちづくりを行おう。
- 提案62. 若者の集い場を作ろう。
- 提案63. 子ども、若者が、一度石巻市から出たとしても、戻ってきたくなるまちづくりを行おう。
- 提案64. 遊べる場所がたくさんある楽しい街を作りあげよう。
- 提案65. 津波から生き延びた洋服、がれきで作られた御神輿、救い出された缶詰など、被災を逆手に取った「津波ブランド」を創設しよう。
- 提案66. 震災復興基本計画の考え方の中に「環境の保全と創造」を加えよう。
- 提案67. 地域で働く名物おじさんとの交流など、子どもたちが憧れる仕事姿を見せられるような機会をつくろう。
- 提案68. 安全・安心に生活できる場所をもっともっと増やそう。
- 提案69. 行政と市民が協力し、市民の防災意識をもっと高め、自主防災の組織づくりを行おう。
- 提案70. 避難所での生活まで含んだ防災計画を策定しよう。
- 提案71. 今回の災害の教訓を、市民レベルで後世に語り継いでいこう。
- 提案72. 防災（減災）教育を強化しよう。
- 提案73. 小中高を通じ、教育の現場で防災やボランティアに携わる機会を今よりも増やそう。
- 提案74. 災害時に、先生の不足を補う仕組みを作ろう。
- 提案75. 市立高校に防災科をつくろう。
- 提案76. あらゆる公共施設が防災拠点になるまちづくりを行おう。
- 提案77. 災害時などに大人数が収容可能な避難所にもなる施設を作ろう。
- 提案78. 学校が防災の拠点になる計画を策定しよう。
- 提案79. 道・鉄道の復活、強化を早期に行おう。
- 提案80. 道路を整備し、他所からのアクセスを良くしよう。
- 提案81. がれきを利用した島を設けるなど、堤防だけでなく津波対策を検討し、実施しよう。
- 提案82. 岸壁を高くするなど、海側の津波対策を強化しよう。
- 提案83. 医療が充実するまちづくりを行おう。
- 提案84. 次世代エネルギー導入都市宣言を行い、全戸にソーラーパネルを設置しよう。
- 提案85. 学校・幼稚園など教育施設を早期に復旧させよう。
- 提案86. 仮設住宅の建設場所を早期に確保し、快適な仮設住宅を建設しよう。
- 提案87. 「がんばっぺ石巻」じゃなく「ふんばっぺ石巻」を目標に。ふんばるは今より悪くしないことです。
- 提案88. 被災して生活が大変な人のことも考え、的確で、分かりやすく、他市町村より早い決断ができる自治体を求めます。

- 提案89. 震災のがれき処理計画を早期に策定し、市民へ開示することを求めます。
- 提案90. 市民の健康を診断する機会をもっと設けることを求めます。
- 提案91. 教育施設、学習の場など、学生のことを配慮した施策を求めます。学習だけではなく、子どもたちが今したいことを考えてほしいです。
- 提案92. 多くの公園は、仮設住宅になっており、子どもの遊ぶところがない。学習だけではない。子どものことをしっかり考えたまちづくりを行おう。
- 提案93. 大人の人たちは震災復興に、もっと学生を頼っても良いと思います。
- 提案94. 居住地の中心にボールで遊べる広い敷地の公園や遊具のあるまちが良いです。
- 提案95. 地元が静まり返らない明るいまちが良いです。
- 提案96. 学生時代の友達と、大人になっても楽しく遊べるまちが良いです。
- 提案97. 近所付き合いが良く、チームワークのあるまちが良いです。
- 提案98. 子どもと大人が協力し、お互いにとって快適な街を目指そう
- 提案99. かつこよくておもしろいだんなさんと出会えるまちが良いです。
- 提案100. 大型スーパーではなく、人と人の付き合いがあり、賑やかで、活気のある商店街が良いです。
- 提案101. 地震前になかったことが、地震後にいっぱいあると良いと思います。
- 提案102. 一人一人が町づくりに向かっていたら良いと思います。
- 提案103. 今回の震災がいかされなかったら嫌です。
- 提案104. 震災の経験を生かした活動がしたいです。

*提案87～104は、子どもたち（中高生）の意見です。